

誰でも、どこでも、自分らしく

令和7年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

インタビュー①



性的マイノリティの当事者である小谷さんが、苦悩や熱い思いを話してくれました！

小谷 すぐさん

焼津市出身。県立高校の教師として自分らしい身だしなみで教壇に立ち、誰もが自分らしく輝ける社会の実現に向けて支援を行う。また「しずおか虹と風の学校」の代表として、教育現場の人権意識の向上を目指し活動中。

自分らしい制服を

ここ数年で制服の選択制が増えてきました。私も学生の頃は女子の制服に憧れていたのですが、当時は男子がスカートを履きたいと言っ

ていけないどころか、そう思っ

理想と現実の違い

最近では、性的マイノリティについて耳にすることも多くなりましたが、社会ではまだ既存の男女の在り方を大事にしている人が多いため、性的マイノリティの人は生きづらさを感じます。自分の意見を主張したことにより、居心地が悪くなることもあります。それにより、周囲とうまくいかなかった人も見てきました。

男らしさ・女らしさより自分らしさを表に出せるような学校や社会になってほしいと思います。



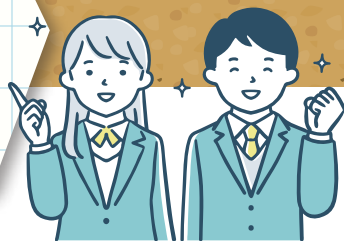
市内で行われたセミナーの様子

繋がることの大切さ

私は数年前にカミングアウトをして、気持ちが軽くなりました。それと同時に周りに起こっていたパワハラ・モラハラが見えるようになり、ハラスメントに対する意識も高まりました。性的マイノリティに関わらず情報が入ってくるようになり、「不妊治療で辛い思いをしてきたから共感します」と言ってくれた教師もいました。一つのマイノリティから他と繋がり、ネットワークが広がります。そうすると、一つ解決すると他の問題も次々に解決していくことがあります。

マイノリティだけでなく、みんなが幸せに暮らせるためには、安心して話せる場が必要です。悩みを一人で抱え込まずに、学校の先生や相談機関など、自分が信頼できる人や場所を見つけてほしいと思います。

制服の選択制について聞いてみました!!



皆さんは今年度から、焼津中央高校の制服が一新したことを知っていますか？どのように変わったのでしょうか。一緒に、ちょっとのぞいてみましょう！

制服を変更することになった経緯は…？

焼津中央高校と言えば、男子は学ラン、女子は黒のジャンパースカート、ボレロにリボンというスタイルで、これは学校創立当初から変わっていませんでした。とても個性的で素敵な制服ですが、「温度調節が難しく、機能的ではない」という意見が出ることもありました。2023年度が焼津中央高校の創立60周年、そして新校舎の落成式が11月に行われるということもあり、それならば制服も新しくしようという動きが出てきました。

新しい制服が出来上がるまで…！

新しい制服のデザインは、1年以上をかけて準備してきました。生地を使用しているのは「ブラックデニム」ですが、これを選択するにあたっては賛否両論がありました。デニム生地は最初こそ少し固いですが、着れば着るほど馴染んで動きやすく、また、丈夫で擦れても目立ちにくいのが特徴です。生徒が勉強する時に着心地の良い制服であることを優先し、また他校にはない斬新さが宣伝にもなるということで、デニム生地を採用しました。

今の時代に合う「選択」

男女共に、上はリボンかネクタイ、下はスカートかスラックスを選べます。春から夏にかけては女子生徒の大半はスカートを選んでいるようですが、秋から冬にかけてはスラックスを選ぶ生徒が増えるかもしれません。

男子だから、女子だからという目線ではなく、1人の生徒として、好きな組み合わせを選ぶことができます。今の時代、自分の意志で決められることが大切であり、その「選択肢を用意すること」が学校としての役目だと思っています。

取材を受けてくださった教頭の石上先生ありがとうございました。ちなみに、秋から冬にかけては、ベストやセーターもベージュとグレーから選択できるそうです。市内で見かけたら、チェックしてみてくださいね。



これで焼津市内の全ての高校で制服の選択ができるようになりました

男女共同参画とは、多様性を尊重し、誰もが平等に活躍できる社会を築くための取り組みです。これはLGBTQに関する認知や理解を深めたり、これらの人々が差別や偏見を受けずに生活できる社会を築いていくことにも繋がります。

LGBTQの割合は約10%で左利きの割合とほぼ同じくらいと言われています。実は、見えていないだけで決して珍しくはないのです。

今回は、カミングアウトし自分らしく、ありのままに生活している方たちに取材させていただきました。また、多様性を尊重する制服を今年度から導入した焼津中央高校にも話を聞かせていただきました。

インタビュー②



LGBTQについて、アメリカと日本ではどのような違いがあるのか、アメリカ人留学生に聞いてみました！

メンドーザ・イライさん

アメリカ出身・在住。昨年、大学院生として焼津市内でホームステイを体験。生物学的な性は女性として生まれ、現在は男性として生活。

LGBTQを学ぶ機会

アメリカは大学以外でLGBTQについて学ぶという授業は基本的にあります。LGBTQの話題を授業に取り入れようとする先生もいますが、それによって保護者との間で問題となることもあり、教師をやめざるを得なくなる場合もあるようです。実際に私が、トランスジェンダーの歴史上の人物について初めて知ったのは、大学生になってからでした。

周囲へのカミングアウト

中学を卒業する時、母に手紙を書いてカミングアウトしました。自分でトランスジェンダーについて調べ、高校には男の子として入学したいと思っていました。母は私を受け入れてくれましたが、政治的、宗教的な事情を心配したので、大学生になるまで隠していました。大学で男性の名前を名乗るようになってから、男子トイレも使えるようになりました。しかし正直なところ、今でも更衣室は使わず、車の中やトイレの個室で着替えています。



ホームステイの様子

アメリカと日本の違い

どちらがより受け入れられているのか、はっきり言えるほどの知識はありませんが、私が経験した限り、日本人はLGBTQについて学ぼう、サポートしようとする純粋に気にかけているようです。日本人にはLGBTQであることが「間違っている」という思い込みもありありませんし、少なくともアメリカ人のように直接的にそれを伝えたりしません。しかし、アメリカでは認められている同性婚が、日本ではまだ認められていません。宗教的・政治的な背景の違いが、LGBTQに対する日米の考え方の違いにも出ていると思います。

教えて！やいちゃん

フライパン1つでできる！



管理栄養士 風間幸代さん監修
～おうち食材で～
簡単！ガパオ風ライス



管理栄養士。保育園での食育講座や人間ドック・不妊外来での栄養相談、シニア向け料理教室など0歳から100歳までの食を通して健康支援に携わる。静岡県出身。2児の母。



【材料】(4人分)

ごはん …… 800g(4杯分)
鶏ひき肉(豚ひき肉でもOK) …… 300g
ピーマン …… 2個
たまねぎ …… 1/2個
赤パプリカ …… 1/2個
卵 …… 4個
青じそ(バジル) …… 8枚
★しょうゆ …… 大さじ1
★砂糖 …… 小さじ2
★オリーブオイル …… 大さじ1
★酒 …… 大さじ1
★おろしにんにく …… 小さじ1/2
サラダ油 …… 大さじ1と1/3

【作り方】

- ①玉ねぎは皮をむき1cm角に、パプリカ・ピーマンも種とへたをとりのぞき1.5センチ角に切る。
- ②フライパンにサラダ油小さじ1を加えて熱し、卵を割り入れて好みの固さの目玉焼きにして取り出す。
- ③フライパンにサラダ油大さじ1を入れて中火にかけ、鶏ひき肉を加えて炒め、色が変わったら①の野菜も加えてしんなりするまで炒める。
- ④混ぜ合わせた★を加えて汁気がなくなるまで炒めたら火を止め、手でちぎった青じそを加えて混ぜ合わせる。
- ⑤ごはんとともに盛り付け、上に目玉焼きをのせてできあがり。

ポイントアドバイス

- ・15分程度でできるので、暑くてキッチンに立ちたくないときにもおすすめ！
- ・夏野菜はビタミン豊富で、体の酸化予防や日焼け対策にも。鶏肉は、低脂肪、高たんぱく質で、エネルギー代謝を促進するビタミンB群が豊富。にんにくや青じそは、体をあたためる効果があるため、冷房や冷たい食品で冷え切った夏の体にもおすすめです。

栄養価(1人分)	
エネルギー	652kcal
たんぱく質	28.4g
脂 質	20.1g
炭 水 化 物	83.8g
塩 分	1.5g

編集後記



●私の「〇〇らしさ」のイメージは、自分で勝手に決めつけている基準であって、それに「正解」はないと思います。まずは先入観を持たず、目の前にいる相手を理解しようとする、そして相手を認めることが大事！焼津にも色々な方が当たり前に集える「居場所」がたくさん出来ることを願います。㊦

●LGBTQへの理解はアメリカの方が日本よりも進んでいるものだと思っていました。しかし、日本以上に宗教的な問題や政治的な絡みもあり差別や偏見の目で見られてしまうことも多いと知り大変驚きました。まだまだ課題はありますが、まずはLGBTQのことを知り、より理解することが大事なんだと思いました。㊦

●世間には、公表していないLGBTQの人たちが多くいるかもしれないと、今回の取材で知ることができました。人の考え方や先入観を変えることは簡単ではないですが、この人にならカミングアウトをしても大丈夫だと思ってもらえるような、言動や行動が心がけたいと思います。㊦